

2024 年度 織田ファッション専門学校

学校関係者評価報告書

(令和 6 年度)

評価対象期間

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

織田ファッション専門学校

学校関係者評価委員会

1. はじめに

2024 年（令和 6 年）4 月 1 日～2025 年（令和 7 年）3 月 31 日を評価対象期間とした自己点検評価報告を元とした織田ファッション専門学校学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、ここにご報告いたします。

本校が社会およびファッション業界に対して高い価値を提供すべく、より良い教育を目指すため、委員の皆様にご評価とご意見をお伺いいたしました。学校関係者評価の結果を踏まえ、学校運営の更なる改善と教育の質向上に努めて参ります。

開催日：2025 年 4 月 25 日（月）15：00－16：30

会 場：織田学園第 8 校舎 理事長室

2. 学校関係者評価委員（敬称略）

氏名	所属	役職等	種別
山野 晴雄	多摩地区高等学校進路指導協議会	顧問	元高等学校教員
内藤 久美	株式会社辻洋裁店	技術職	企業関係・卒業者
滝浪 徹也	オフィスクラウン(株)	スタイリスト	企業関係・卒業者

3. 自己評価に対する学校関係者評価委員の評価方法

学校より自己評価の各項目について関連資料を交えて報告と説明を行い、自己評価の評価点（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切・未実施…1）が適切か適切でないかを学校関係者評価委員 3 名よりそれぞれ評価をいただいた。

4. 自己評価に基づく学校関係者評価

【1. 教育理念・目標・育成人材像】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
理念・目標・育成人材像は、定められているか。	4	適切 3名
学校における職業教育の特色が明確になっているか。	4	
各学科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	
学校の教育理念やポリシーは学内外に広く公表されているか。	4	

< ご意見・評価等 >

- ・トレンド感やニーズを大事にし過ぎて個の選択を狭めているように感じる。
- ・業界を知る”基本”と将来の”夢”を実現できるように導く学園の教育の本質が見られるとより良いと思う。
- ・学校案内パンフはとても見やすく明るい内容でとても良い。
- ・教職員や全校生徒の集合写真等を織田”らしく”載せてみるのも良いと思う。
- ・ディプロマポリシーについて”ファッション業界の初期キャリアで必要とされている知識や技能を修得している”等、具体的な記載に改めて欲しい。

【2. 学校運営】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念・目標に沿った事業計画が定められているか。	4	適切 3名
外部関係者の評価を有効に活用できたか。	4	
ファッション業界で活躍中の卒業生の活用は促進できたか。	4	
学生のニーズは把握できたか。	4	
教職員の人事評価は適正に行われているか。	4	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	

< ご意見・評価等 >

- ・教育課程編成委員会や業界で活躍する卒業生の意見等を参考にカリキュラムの改善を図っている姿勢は評価できる。
- ・学生アンケートによってニーズを把握することに努めていることは評価できる。改善点を次年度に反映できるように努めて欲しい。
- ・外部の意見を採用することは新しい変化のきっかけになるので今後も続けて欲しい。
- ・学生のニーズを把握するのが年度末で良いのか。もっと短い期間でのヒアリングと改善が重要だと思う。

【3. 教育活動】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念に沿ったカリキュラムになっているか。	4	適切 3名
教育カリキュラムは体系的に編成されているか。	4	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立って、カリキュラムや教育方法の見直しがなされているか。	4	
実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか。	4	
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	4	
授業に関する学生の意見や要望を吸い上げているか。	4	
教員の研修・自己啓発は促進できたか。	4	

<ご意見・評価等>

- ・”知る”ということが学生にとって一番大事だと思う。それを叶える職業教育を続けて欲しい。
- ・教員の研修の内容を知りたい。
- ・企業とのコラボレーションやインターンシップ活動もさらに充実を図って欲しい。
- ・教員の研修も連携企業や外部研修への参加の機会を設け、学生に還元して欲しい。

【4. 学修成果】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
生活支援の充実化は図れたか。	4	適切 3名
教育支援の充実化は図れたか。	4	
就職支援の充実化は図れたか。	3	

<ご意見・評価等>

- ・経済的困難を抱える学生に対する相談・支援の体制をより充実させ、学業と両立できるように努めて欲しい。
- ・専門学校は就職実績で評価されるので、前年度より実績が低かった要因を分析し、対応を検討し、就職支援の充実にも努めて欲しい。
- ・業界のコスト削減により正社員求人が減っているのは否めないが、少ないながらも新しい働き方もあります。東京にこだわらず視野を拡げて欲しい。そのための情報収集は不可欠だと思う。
- ・就職は学生の「個の選択」。社会情勢もあるので常に上手くいくことでもない。未来に迷い、悩み、苦しんだ時に教員に頼ることも「個の選択」。しっかり手を差し伸べてあげられる環境があると学生は安心する。

【5. 学生支援】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
退学率の客観的数値(前年度比較)は改善したか。	2	適切 3名
心理検査(ハイパーQU)から得られた情報は適切に活用できたか。	4	
学生のメンタルヘルス対応は積極的に取り組めたか。	3	
卒業生への支援体制はあるか。	4	
家庭との連携は適切だったか。	4	

<ご意見・評価等>

- ・学生のメンタルケアは大変難しい問題。織田ならではの先生との距離感、全体のアットホーム感で話しやすい環境作りが大事。
- ・"少人数制"は学生一人ひとりに目が行き届く。さらに相談窓口も設けているので環境は良いと思う。ただ、学生が相談しやすいと感じているかどうかは気になる。
- ・家庭との連携も密にし、教員間で学生情報を共有し、誰でも相談にのれる体制を作り、退学者の減少に努めて欲しい。
- ・学外のメンタルヘルス相談窓口ではなく、学内にカウンセラーを置くことも検討する必要がある。

【6. 教育環境】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	適切 3名
施設・設備の更新は適切に計画されているか。	4	

<ご意見・評価等>

- ・特に実習機器については定期的な点検整備を実施していくほか、学生の要望も把握しながら充実を図るように努めて欲しい。
- ・"最新"も大事ですが、"現場を意識した設備"の方が良い。使いこなせないと意味が無い。

【7. 学生の受け入れ募集】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
数値目標(入学生数 90 名)は達成できたか。	2	適切 3 名
OC 参加者の増加は達成できたか。	4	
OC からの取り込み率は向上できたか。	4	
学生募集における学校の訴求ポイントについて広報と協議の上で決められたか。	4	
広報物の訴求の一貫性を図れたか。	4	
広報物の制作にあたり、学校と広報とで意見交換が図られたか。	4	
広報担当スタッフとの連携を強化できたか。	4	
OC 時の参加者対応スキルの向上は図れたか。	4	
OC の結果等の分析や、コース内容のブラッシュアップ等について学校と広報とで十分な意見交換ができたか。	4	
留学生受け入れについて適切な体制が整備されているか。	4	
SNS 等、学校の認知 PR は適切に行えたか。	4	

< ご意見・評価等 >

- ・ 学校選びの”決め手”は時代によって変化するので、相手の生の声を聴くのが重要。
- ・ 高校生等のニーズをどのように得るのか、その方法を得られるかが鍵。
- ・ OC 内容も重要だが、それ以前に学校としてのブランド力が必要。
- ・ SNS は在校生の様子や雰囲気が良く伝わるので、フォロワーが増えると良い。
- ・ 様々な活動が OC 参加や入学に必ずしも結びついていない。分野志望の高校生が少ないこともあるが、媒体の活用や教員による高校訪問、ガイダンス、模擬授業などに参加し、高校教員・高校生に学校認知度を高める努力をして欲しい。

【8. 財務】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
経営感覚の教職員間での共有は図れたか。	3	適切 3 名
授業料等、学納金は妥当か。また適切に見直しを行っているか。	3	
財務改善への取り組みは推進できたか。	4	

< ご意見・評価等 >

- ・ 財務改善には入学者の増加と退学者の減少に教職員が一丸となって取り組むことが必要。
- ・ 学納金の値上げは社会の値上げブームの時に実行するのが好機では？
- ・ 財務状況の改善に向けて中・長期計画を作成し、取り組む必要がある。
- ・ 値上げによるリスクを恐れて学納金を上げられない状況は理解できる。

【 9. 法令等の遵守】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
コンプライアンス意識を再確認できたか。	4	適切
自己点検・評価の結果を公開しているか	4	3 名

< ご意見・評価等 >

- ・コンプライアンスが厳しい時代。社会の変化に敏感に反応できるようにすることが大事。
- ・HP で各種情報を公表しているのは適切。
- ・情報公開は過去 3 年分はアーカイブとして公開して欲しい。

【 10. 社会貢献・地域貢献】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
地域や自治体と連携し、イベント等の企画に積極的に参加しているか。	3	適切 3 名

< ご意見・評価等 >

- ・学園祭での子供服販売は好評だったと思う。内容の拡充を検討して欲しい。
- ・地域や自治体と連携したイベントにも積極的に参加して欲しい。
- ・駅に至近な学校なので、もっと区と何かできるのでは？
- ・中野と言えば織田、と連想される位に認知度を上げたい。地域行事に積極的に参加することも 1 つのキッカケになると思う。

【 11. 国際交流】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
留学生受入れ、学習・生活指導等について適切な体制が整備されているか。	4	適切 3 名

< ご意見・評価等 >

- ・留学生担当職員を置くなど、受け入れ体制が整っているのは良い。
- ・海外研修を通じて国際交流を図ることも積極的に進めて欲しい。

5. 総評

- 入学者確保のために SNS 等で学校の魅力や活動を積極的かつ効果的に発信すると共に、高校との連携等で関係を深める取り組みをお願いしたい。
- 将来的には第三者評価を実施することについても検討願いたい。
- 全体的に真面目で真摯に取り組んでいると思う。
- アパレル業界の状況は様々で、伸びている所はとても伸びている。情報収集がカギになると思う。
- 新しいことに取り組む際は鮮度感を意識し、織田らしさを一番大事な軸として取り組んで欲しい。
- 多摩地区にはファッションの専門学校が無いので、多摩地区の高校との関係を深め、学生募集につなげていくことを望む。

織田ファッション専門学校
学校関係者評価委員会